

## 石尾台地区における自動運転を活用した新しい移動サービス検討ワークショップ

### 1 ワークショップ開催目的

地域の移動に関する課題や新しい移動サービスについて議論することで、サービス導入に向けたニーズ把握や地域における役割分担などを検討する。

### 2 これまでのワークショップの検討内容

- プレワークショップ（6月開催）：地域の移動実態や困りごとなどを共有
- 第1回ワークショップ（7月開催）：利用者（ターゲット）、車両、走行ルートなどを検討
- 第2回（8月開催）：利用料金、地域でできることなどを検討
- 第3回（9月開催）：地域の役割などの検討を深化、まとめ

### 3 参加者意見

A、B、Cグループでの話し合い項目（利用者、車両など）の統合

利用者(ターゲット)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メインの利用者は、「運転はしないが自分で歩行できる」人。</li> <li>・サブの利用者は、（自分で歩行できる）要支援者、その他住民。</li> </ul> <p>⇒自分で車両に乗り降りできることが利用条件になる。</p>
車両（自動運転車）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調、乗りやすさなど快適な車両が良い。</li> <li>・利用者ニーズに応じた車両が良い。</li> </ul> <p>⇒今年度は実験の都合上ゴルフカートだが、他市の事例（神戸市など）も参考に最適な車両（軽自動車、普通車など）を検討していく。</p>
走行ルート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元でよく利用する施設（医院、薬局など）に行きたい。</li> <li>・定時定路線がわかりやすい。</li> </ul> <p>⇒今年度は、幹線道路で囲まれた地区内道路を走行予定。効率的に運行させるため、「走行ルートは固定するが、乗りたい人の乗り場に効率的に迎えに行く」形式で実証実験を実施予定。</p>
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100円～200円/回程度でバスと同じくらいの料金で利用したい。</li> <li>・ドライバーは、ボランティアにしてみたい。</li> </ul> <p>⇒実証実験では無料を想定するが、事業の継続を踏まえると将来的には適切な受益者負担が必要。</p>
地域にできること	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会や地域を主体とした新しい団体（NPOなど）が主体となるべき。</li> <li>・将来のためにも、魅力のある地域づくりをしないとけない。</li> </ul> <p>⇒選ばれる地域、持続可能な地域とするには、地域が主体となった魅力的な取組が必要。</p>

## 4 ワークショップ意見のまとめ

### <Aグループ>

- 生活に必要なスーパーは、楽しむためのものではない。アピタや名古屋に出ることで生きがいになる。
- ランニングをボランティアに頼るのは継続性に欠ける。専用運転手があるとよい。
- 輸送のキャパを上げて、コストを下げる努力が必要。

### <Bグループ>

- 町内会などに協力を仰ぐとき、「協力してくれるか」が心配。
- 全員ボランティアでは継続しない。乗車費用 100 円/回で賄うのは厳しい。
- 地域を引っ張っていく推進力が必要になる。

### <Cグループ>

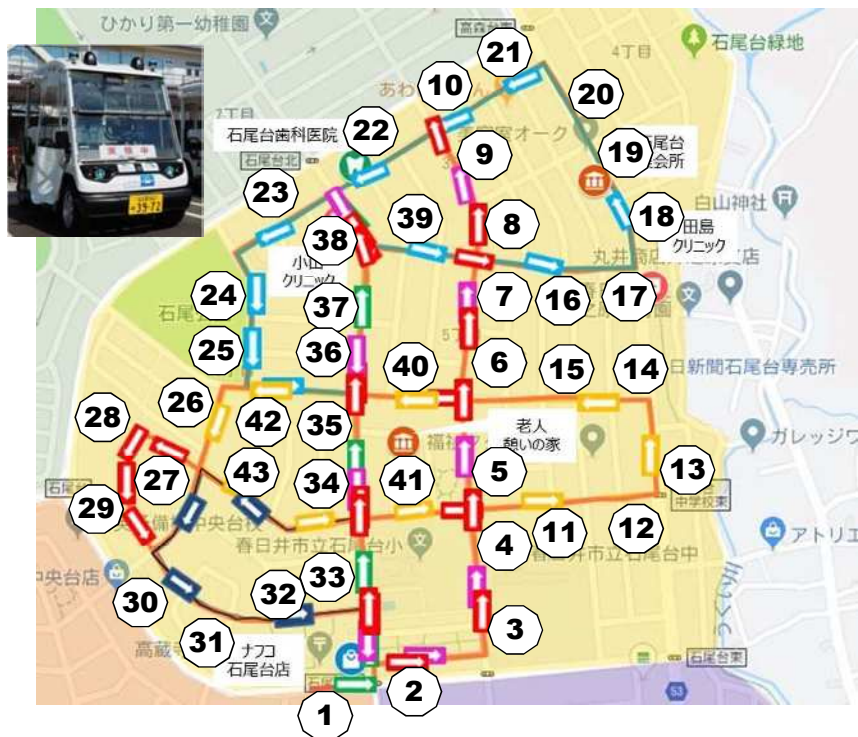
- 地域のコミュニティカを上げる努力が必要。
- ボランティアドライバーは、70 歳まで現役で働くと、75 歳までの短い間の人しか適齢者がいない。
- 取組の継続により、地域に浸透させることが大切。

## 5 総括

- 自動運転の新たなモビリティサービスについて、参加された地域住民の皆さんは当事者として意識し、議論することができた。
- 担い手として、自治組織が有力であるとの意見がある一方、地域の負担軽減の考慮が必要。
- 地域が主体となり「魅力ある地域づくり」を進めていくことが必要。



## ◇「ゆっくりカート」の利用イメージ



- ・11月初旬～中旬、ゆっくりカート(手動運転, 15km/h程度)が1台走行
- ・8時30分～15時30分で30分間隔(00時発便・30分発便)を運行
- ・ドライバーと補助員が同乗し, 利用者は最大2名/便
- ・30分前までに乗車/降車番号, 名前, 連絡先を予約(補助員に電話)し, 乗車可否を確認

### <検証項目>

- ・乗降場所の利便性
- ・サービス内容の妥当性(デマンド交通か定時定路線かなど)
- ・地区内自動車交通への影響(渋滞発生)
- ・利用者属性
- ・地区住民の皆さんが協力可能なこと, など

## ◇「相乗りタクシー」の利用イメージ



- ・11月中旬～2月末, オンデマンド型相乗りタクシーサービス
- ・9台のセダン型タクシー(通常営業も)
- ・8時30分～16時30分でアプリと電話での予約(グルッポふじとうに事務局設置)
- ・利用者は最大3名/便
- ・バスと同様に一人ずつの料金支払い, タクシーと同様に路線なし
- ・運賃は距離比例制で100円単位, 通常タクシーの4～5割引き程度(最低運賃は300円), 車内精算

### <検証項目>

- ・バスとタクシーの中間的な移動サービスのニーズ
- ・サービス内容の改善内容
- ・利用者属性
- ・自家用車に代わる地域住民の足への期待, など

自宅(石尾台団地内)からグルッポふじとう  
(直線: 1.87km, 最短経路: 2.8km)

- ・相乗りタクシー運賃: **500円**
- ・通常タクシー運賃: **1285円 割引: 61%**

自宅(石尾台団地内)から高蔵寺駅  
(直線: 3.37km, 最短経路: 4.8km)

- ・相乗りタクシー運賃: **900円**
- ・通常タクシー運賃: **1991円 割引: 55%**